

佐野先生と日本小児歯科学会の皆さんとの忘れられない思い出

ソウル大学校・小児歯科研修医

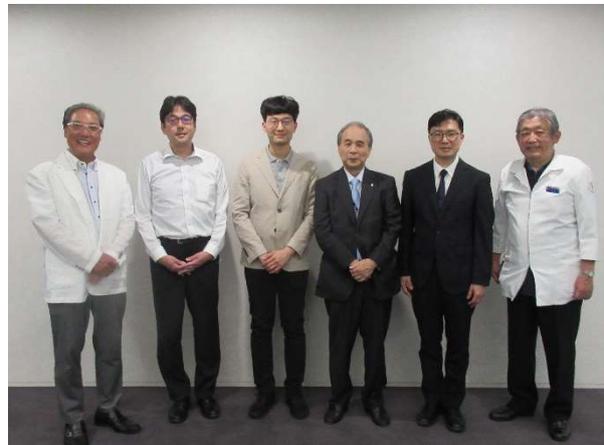
Wonkyu Shin

この度、佐野先生をはじめ、日本小児歯科学会の皆様の多大なるご支援のおかげで、幸運にも第1回 ASUNARO Award の受賞者として日本に招待していただきました。

日本滞在中は、Hyun 教授が指導医として同行してくださいました。

7月21日、田中先生が羽田空港の到着口で私たちを温かく迎えてくださいました。おかげさまで東京での滞在先となる、東京ドームホテルまで快適に到着することができました。

東京歯科大学水道橋病院では、井手教授、新谷教授、櫻井先生にお出迎えいただき、櫻井先生のご案内で小児歯科や障害者歯科の診療室など、病院内を見学させていただきました。このツアーで最もエキサイティングだったのは、頭蓋骨と解剖模型のコレクションでした。同じ患者さんの歯型を年代順に集めるという発想がとても印象的でした。その後、東京都立心身障害者口腔保健センターに移動し、質の高い設備と、障害者のための歯科医療体制に感嘆しました。



新谷教授、櫻井先生、弘中教授、田中先生に大変お世話になり、東京ドームホテル内にある「京料理「熊魚庵 たん熊北店」」で夕食をご馳走になりました。レストランからの素晴らしい眺めと美味しいお料理をいただきながら、日韓の小児歯科の話題や問題点を共有し、楽しいひと時を過ごしました。



7月22日、田中先生に東京駅へご案内いただき、佐野先生のあすなろ小児歯科医院のある富山へ向かいました。北陸新幹線で約2時間、富山駅のホームで佐野先生が温かく迎えてくださいました。ご厚意に甘えて、昼食はお寿司のおまかせをいただき、クリニックを見学させていただきました。佐野先生のクリニック「あすなろ王国」の明るく楽しい雰囲気は、私をすぐに無邪気な世界へと誘いました。



午後を《あすなろ王国》で過ごした後、佐野先生とクリニックのスタッフによる食事会にご招待いただき、富山の食材を使った和食のコース料理をいただきました。新鮮な魚介類と美味しい日本酒を堪能しただけでなく、佐野先生とスタッフの方々の温かい友情とおもてなしにも感動しました。おかげさまですっかりいい気分となり、日本酒に酔ってホテルに帰りました。



7月23日、3日目は佐野先生の案内で北陸文化の源流の街、金沢を終日観光しました。天気は快晴で、佐野先生のおかげで暑さを避けて市内の観光地をタクシーで移動することができました。金沢城、武家屋敷野村家、忍者寺（妙立寺）、そして金沢21世紀美術館を訪れました。忍者寺の通路や扉に隠された複雑な迷路のような仕掛けはとても興味深く、金沢21世紀美術館の錯視プールのインスタレーションアートにも本当に驚かされました。



昼食は、佐野先生が金沢を代表する旅館「金城樓」に連れて行ってくださり、繊細な料理とお店の人たちの心のこもったおもてなしに驚かされました。佐野先生の温かいご配慮のおかげで、伝統的な場所で料理と和やかな雰囲気を楽しむことができました。



佐野先生のおもてなしは驚きの連続でした。夕食は富山に戻ってから、ANA クラウンプラザホテル富山にあるジャパニーズスタイルのグリルバーでご馳走になりました。富山の夜景を眺めながら、伊勢海老のグリルやステーキを楽しみました。その後は、佐野先生は私たちをご自宅に招いてくださり、ピアノの美しい調べを聞きながら、日本酒を酌み交わし、最後の夜を過ごしました。



最終日の7月24日、佐野先生に富山駅まで送っていただき、お別れしました。私たちを日本に招待し、手厚いもてなしをしてくださった佐野先生には本当に感謝しています。佐野先生がいかにか国民や社会のために尽くしてくださったかが伝わってきました。

また、私たちが快適に過ごせるよう日本滞在に多大なるご配慮をいただいた田中先生、そして日本小児歯科学会の会員の皆様にも感謝の意を表したいと思います。日本と韓国の小児歯科学会が親密な関係を築き、学術的にも文化的にも継続的に交流できることを願っています。

改めて、このような思い出深い経験をさせてくださった佐野先生と日本小児歯科学会の皆様に感謝いたします。また近いうちに、国際学会で温かい歓迎とともに皆様にお会いできることを楽しみにしています。

